

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1		7	その日ごとの児童の人数や特性に合わせて1階、2階スペースを使い分けております。また、職員の目が届くよう機の配置等を工夫しております。		
	2		7	職員数は、配置基準を満たした上で対応しています。随時、児童に合わせた人員の確保と適正な配置を行い、療育の見守りが十分にできる体制を整えています。		
	3		6	1	現在、車いすや視覚・聴覚障害のある児童の利用はありませんが、生活しやすい環境づくりを心がけています。事業所入り口には段差や階段があり、職員の付き添いや手すりへの目印設置など、安全に配慮しています。また、児童・職員ともに動線の確保を意識しています。	今後も生活空間は児童に分かりやすい構造になるよう配慮を続け、段差がある場所や2階に上がる際には、職員が必ず付き添い安全への配慮を心がけてまいります。
	4		7	空気清浄機を使用し、机・椅子・玩具などは使用後に消毒して清潔を保っています。また、毎日掃除と消毒をおこなっています。		
	5		7	児童の特性や状況に応じた配慮を行い、適切な環境を整えています。		
業務改善	6		7	毎朝の朝会でミーティングを行い、月2回のリフレクションでは、課題があれば自由に話し合える場を設け、職員全員が参加できるようにしています。また、その内容を業務改善につなげています。		
	7		7	年に一度アンケート調査を実施し、集計内容を職員間で共有しながら今後の支援につなげております。		
	8		7	毎朝朝会でミーティングを行い、月1回のリフレクション等では、課題があれば自由に話し合える場を設け、その内容を業務改善につなげております。		
	9		2	5	現時点では、第三者評価は実施していません。	第三者による外部評価は今後の課題として検討してまいります。
	10		7	定期的に事業所内研修を行い、職員の資質向上に努めています。また、外部研修の案内があった際は、日程が合えば積極的に参加しています。		
適切な支援の提供	11		7	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。	令和7年度に向けた支援プログラムを作成し、公表準備を進めております。	
	12		7	保護者の意向や児童の様子、今後の課題を考慮し、支援計画を作成しています。		
	13		7	児童の特性や支援方法等、情報を職員全員で共有をし、改善しながら支援につなげております。		
	14		7	児童の特性や支援方法などの情報を職員全員で共有し、改善を重ねながら支援につなげています。		
	15		6	1	統一されたアセスメントシートを使用しています。	アセスメントシートや日々の記録等で確認できるようにしております。
	16		7	児童や保護者との面談などを通じ、本人支援の5領域の視点を踏まえた支援をおこなっています。		
	17		7	児童の様子などの情報共有をおこない、適切な支援計画を立案するように心がけています。		
	18		7	児童の様子などの情報共有をおこない、適切な支援計画を立案するように心がけています。		
	19		7	保護者の意向や職員の情報を考慮し、個別支援と集団支援を組み合わせて計画を作成しています。		
	20		7	リフレクションや連絡用ファイル、ホワイトボード、朝会などを活用し、細やかに情報共有をおこなっています。		
	21		7	送迎の関係で職員間の振り返りが難しい場合もありますが、気づいた点や課題は児童発達支援管理責任者に伝え、後日共有しています。		
	22		7	毎日の支援内容や児童の様子を正確に記録し、全職員が確認できるようにしています。		
	23		7	毎日の支援内容や児童の様子について、正確に記録を取り、全職員が確認できるようにしています。		
	24		7	ガイドラインの総則にある「4つの基本活動」を組み合わせ、統一した支援をおこなっています。		
	25		7	児童の自己決定を尊重し、活動を体験することで選択肢を増やし、自分で決められるよう支援をおこなっています。		
関係機関や保護者様との連携	26		7	毎日の支援内容や児童の様子を正確に記録し、全職員が確認できるようにしています。		
	27		6	1	現在、医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は、重症心身障害以外の児童を対象としているため、今後受け入れ希望があった場合は慎重に検討し、受け入れ体制や事業所のあり方について模索してまいります。
	28		7	行事予定や下校時刻などを用紙で受け取っています。また、送迎時や電話連絡などで情報共有に努め、急な変更にも対応できるよう、日頃から連携を図り、迅速に連絡を取るようにしています。		
	29		7	幼稚園や保育園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めています。		
	30		6	1	現在、対象となる児童はいませんが、その際には適切に対応できるよう情報の整理をおこなっています。	今後も保護者様からご依頼やご相談があった場合は、ご家庭や事業所等へ情報公開や助言等を適切に行ってまいります。
	31		7	専門機関と連携し、情報交換をおこなって助言を受け、他事業所とも意見交換や共通理解ができるようにしています。		
	32		3	4	長期休暇中は放課後児童クラブなどへの送迎もおこなっているため、交流があります。	必要に応じて交流方法を検討してまいります。
	33		3	4	現在、参加しております。	行政から連絡があった際には協議会の参加しております。
	34		7	保護者が事業所に迎えに来られた際や送迎時などに、児童の状況(課題や成長)を伝え合っています。また、日々の連絡帳に利用の様子を記載し、共通理解をもてるよう取り組んでいます。		
	35		6	1	保護者から要望がある場合は、家庭でもできる療育のヒントとなるように、療育で使った課題(道具)や動画を閲覧していただき、アドバイスなどもおこなっています。	より良いサポートができるように研修等がありましたら、積極的に参加をさせていただきます。能力の向上に努めてまいります。また、今後も家族支援、事業所内相談を通して保護者様の困りごことに寄り添った支援ができるよう努めてまいります。
保護者様への説明責任等	36		7	契約時には児童発達支援管理責任者が対応し、契約事項に答えられるよう配慮しています。利用者の請求をお返します際は、分かりやすい説明を心がけています。また、急な変更時には随時説明をおこない、ご不明な点があれば随時対応しています。		
	37		7	モニタリングや家族支援、事業所内相談をおこない、児童や保護者の意見を聞く機会を設けています。		
	38		7	ガイドラインに基づき、該当児童に必要な支援を選択し、「児童発達支援計画」を作成しています。契約時には、児童発達支援管理責任者が詳しく説明し、同意を得ています。		
	39		7	送迎時の面談や連絡帳でのやりとりなどを通じ、いつでも気軽に相談していただけるよう日頃から努めています。また、保護者から申し出があった場合には、優先的に時間を確保し、相談に応じるよう心がけています。		
	40		2	5	保護者会は開催していませんが、同系列の事業所で兄弟児の利用がある場合、送迎時などに事業所内外で交流があります。	保護者会は現時点で実施予定はありませんが、今後検討してまいります。
	41		7	苦情の受付について、行政機関やその他の苦情受付機関の案内、周知をおこなっています。苦情があった場合は、迅速かつ丁寧に対応し、解決に努めてまいります。		
	42		7	定期的に「COMPASS だより」を発行しています。児童の事業所カレンダーには、行事や活動写真を掲載して紹介しています。また、YouTube、インスタグラム、公式Webサイトのブログなどで事業所の活動内容を紹介しています。		
	43		7	個人情報には鍵付き書庫に保管し、流出防止に努めています。書庫も取り扱いは十分注意し、施設可能な書庫に保管します。		
	44		7	児童の特性に応じ、口頭・筆談などさまざまな手段で情報を伝えています。今後も特性に配慮し、意思疎通をおこない、保護者へも丁寧な説明を心がけます。		
	45		2	5	直接、地域住民を招待する形ではありませんが、交通安全教室や防災訓練を通じて、地域の職員の方々と交流活動をおこなっています。	今後も地域社会との交流や連携を図り、企画、運営の検討をおこなってまいります。
非常時等の対応	46		7	各種マニュアルは分かりやすい場所に掲示し、周知しています。また、緊急時に職員が適切に対応できるよう、年周を適して訓練や研修をおこなっています。		
	47		7	年に1度、非常災害訓練を実施し、訓練後はお便りや保護者へ報告をしています。また、災害に備え、非常用備蓄食を用意しています。		
	48		7	定期的に、服薬などの変更がないか保護者へ確認をおこなっています。また、必要な情報を把握し、職員間で情報共有をおこなっています。		
	49		7	保護者からの聞き取りをもとに職員間で把握し、一覧表を分かりやすい場所に掲示しています。		
	50		7	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じています。安全管理が十分された中で支援が行われている。		
	51		7	児童の安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知している。		
	52		7	事例を記録し、危険要因の把握や再発防止に努めています。今後も記録を継続し、事故防止に努めます。		
	53		7	例年おこなわれる行政研修に参加し、研修記録を作成して職員間で共有しています。		
	54		7	契約時、生命や身体を保護するためにやむを得ず身体拘束をおこなう場合は、事前に文書で保護者の同意を得ています。また、個別支援計画にも記載し、同意を得ています。「やむを得ず」の判断は組織的におこない、慎重に対応します。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。